

立川ろう学校の大活躍！



Tachikawa School for the Deaf

## ■ 「KWN 高校生部門 最優秀作品賞」

全国の小中高、合わせて100校以上が参加する、株式会社パナソニック様主催の「KWN」（キッド・ウィットネス・ニュース）という動画コンテストがあります。

そのコンテストに、立川ろう学校 高3の情報系の生徒6名が「課題研究」の授業で「New friend」という短編動画を作り、参加しました。

動画の制作にあたっては、チーム全員で話し合い、字幕無しのノンバーバル動画で表現することを決め、視覚表現のみでどうやったら観ている人に伝わるか、を試行錯誤しながら作成しました。

そのようにして作成し、応募した動画が、3/16 土曜大阪で開催された表彰式にて、高校生部門のエモーション賞、パナソニック社員賞、最優秀作品賞（グランプリ）、の3つの賞を受賞しました。同時に、7月に開催される世界大会「グローバルコンテスト」に中学生・高校生部門の日本代表として参加することも決定しました。

審査員の方からは、「グランプリ作品はフィクションでありながら、ろう学校の学生のリアルが見る者の胸を打つ「ポストドキュメンタリー」とも呼べる静かな力作です。」とのコメントをいただきました。ろう学校として初めてのKWN最優秀作品賞、同じく初めてのグローバルコンテストへの参加が決まり、生徒たちも最高の笑顔で喜びをかみしめていました。



KWN表彰式の様子

## パナソニック KWN コンテスト高校生部門最優秀作品賞「New friend」について

2018年 KWN 動画コンテストの高校生部門の「最優秀賞」として、本校高等部3年生情報ビジネス類型の生徒5名が、今年3月に表彰されました。それにより日本代表として7月末に世界大会としてのグローバルコンテストに参加することになりました。作品は日本全国83校から102作品の応募があり、最優秀賞は小学校・中学校・高校のそれぞれ1つずつになります。パナソニックからは映像機材の貸し出しやプロの方にシナリオの作り方を教わりながら作りました。今年は2回目の参加で1回目の参加は「KWN 特別賞」をいただきました。

### KWN

キッド・ウィットネス・ニュース (KWN) は、パナソニックが1989年にアメリカではじめ、現在ではグローバルに展開する小・中・高等学校レベルの子どもたちを対象とした教育支援プログラムです。映像制作活動を通じて、創造性やコミュニケーション能力を高め、チームワークを養うことを目的としています。

プログラムは、国・地域ごとに運営しており、映像制作用機材の貸し出しや活動支援、コンテストを開催しています。また、2008年からは、年に1回グローバルコンテストを開催し、また世界では16カ国・地域の417校の3,450人が参加(2018年3月現在)、これまでに累計18万人以上の子ども達や先生が本プロジェクトに取り組んでいます。

KWN 日本

<https://www.panasonic.com/jp/corporate/kwn/video.html>

作品も見られます。

NHK ハートネット

<https://www.nhk.or.jp/heart-net/program/rounan/990/>

TVで放映された様子がわかります。

